慣用句(中級)プリント18

月　日　名前 _____

問1　「出鼻をくじく」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 転んで出鼻をくじいてしまい、鼻が痛い。
2. 出鼻をくじいて、鼻の形をきれいに整えた。
3. やる気を出した瞬間に批判され、出鼻をくじかれた。
4. 出鼻をくじくように、鼻を高くして歩いた。

問2　「揚げ足を取る」の意味はどれですか？

1. 相手の揚げ物料理を横取りする
2. 相手の足を持ち上げて転ばせる
3. 相手の弱点を見つけて攻撃する
4. 相手の言い間違いや失言を捉えてからかう

問3　「横槍を入れる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 二人が相談しているところに横槍を入れるのは失礼だ。
2. 遠くから横槍を入れて、的の真ん中を射抜いた。
3. 戦場で敵に向かって横槍を入れる訓練をした。
4. 横槍を入れたことで、相手の服に穴が開いてしまった。

問4　「虎視眈々（こしたんたん）」の意味はどれですか？

1. 自分の利益のために、こっそり計画を立てること
2. 機会をねらって、じっと様子をうかがうこと
3. 強い者が弱い者を力で押さえつけること
4. 恐ろしいものを見て、震え上がること

問5　「手を染める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 手を染めて、きれいに洗った。
2. 絵の具で遊んでいて、手を染めてしまった。
3. インクがこぼれて、手を染めてしまった。
4. 彼は新しいビジネスに手を染めることにした。

問6　「身を粉にする」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 料理で材料をすりつぶして身を粉にした。
2. 石臼で大豆を挽いて身を粉にした。
3. 彼はプロジェクト成功のため身を粉にした。
4. 小麦粉をこねて身を粉にしてパンを作る。

問7　不景気で店で（　）が鳴いている。（　）に入る言葉はどれですか？

1. ツバメ
2. モズ
3. ヤマガラ
4. 閑古鳥

問8　「鼻っ柱が強い」の意味はどれですか？

1. においに非常に敏感である
2. 他人の意見にすぐ流される
3. 気が強く、自分の意見を曲げない
4. 鼻が高くて見た目が立派である

問9　「高をくくる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 試験が簡単だと高をくくっていたら、悪い点数だった。
2. 高い場所にある荷物を高をくくって取り出した。
3. 商品の高をくくって、レジで合計金額を計算した。
4. 荷物の高をくくって、トラックに積み込んだ。

問10　「腕を振るう」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 腕を振るうと筋肉痛になった。
2. パーティーで得意の料理の腕を振るう。
3. 重い荷物を持つために腕を振るう。
4. 準備運動で腕を前後に振るう。

問11　上司の（　）をうかがいながら話す。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 手先
2. 顔色
3. 足元
4. 背中

問12　「火の車」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 火の車を消火器で消し止める訓練をした。
2. 急いでいるので、火の車に乗って目的地へ向かった。
3. 父の会社が倒産寸前で、我が家の家計は火の車だ。
4. 火の車のような速さで走るスポーツカーを見た。

問13　「首をかしげる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 説明を聞いても理解できず、首をかしげた。
2. ダンスの練習で首をかしげてリズムをとった。
3. 重い荷物を運ぶために首をかしげて力を入れた。
4. 寝違えてしまったので、首をかしげて歩いた。

問14　「目が肥える」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 夜ふかしが続いて、目が肥えてしまった。
2. 目が肥えたので、めがねの度を強くした。
3. たくさん食べたので、目が肥えて顔が丸くなった。
4. 美術館に通ううちに、祖父はすっかり目が肥えた。

問15　久しぶりに（　）を執って手紙を書く。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 紙
2. 墨
3. 鉛筆
4. 筆

問16　「水と油」の意味はどれですか？

1. どちらも生活に欠かせない大切なものであること
2. 性質が全く合わず、仲が悪いことのたとえ
3. 見た目は似ているが、中身が全く違うこと
4. 混ざり合うことで、より良いものができること

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(中級)プリント18　答え合わせ・解説

問1　答え 3　やる気を出した瞬間に批判され、出鼻をくじかれた。
「出鼻をくじく」の正しい使い方は「やる気を出した瞬間に批判され、出鼻をくじかれた。」です。 意味は「何かを始めようとする勢いを途中でそぐこと」です。

問2　答え 4　相手の言い間違いや失言を捉えてからかう
「揚げ足を取る」は「相手の言い間違いや失言を捉えてからかう」という意味です。

問3　答え 1　二人が相談しているところに横槍を入れるのは失礼だ。
「横槍を入れる」の正しい使い方は「二人が相談しているところに横槍を入れるのは失礼だ。」です。 意味は「他人の話や物事に、途中から口出しをして邪魔をする」です。

問4　答え 2　機会をねらって、じっと様子をうかがうこと
「虎視眈々（こしたんたん）」は、虎が獲物をねらうように「機会をねらって、じっと様子をうかがうこと」という意味です。

問5　答え 4　彼は新しいビジネスに手を染めることにした。
「手を染める」の正しい使い方は「彼は新しいビジネスに手を染めることにした。」です。 意味は「ある物事に関わり始める」です。

問6　答え 3　彼はプロジェクト成功のため身を粉にした。
「身を粉にする」の正しい使い方は「彼はプロジェクト成功のため身を粉にした。」です。 意味は「ある物事のために、苦労をいとわず懸命に働く」です。

問7　答え 4　閑古鳥
「閑古鳥が鳴く」の「閑古鳥」が入ります。意味は「客が来ず、商売がひっそりとしていて寂しい様子だ」です。

問8　答え 3　気が強く、自分の意見を曲げない
「鼻っ柱が強い」は「気が強く、自分の意見を曲げない」という意味です。

問9　答え 1　試験が簡単だと高をくくっていたら、悪い点数だった。
「高をくくる」の正しい使い方は「試験が簡単だと高をくくっていたら、悪い点数だった。」です。 意味は「相手や物事を軽く見て大丈夫だと判断する」です。

問10　答え 2　パーティーで得意の料理の腕を振るう。
「腕を振るう」は、「持っている能力や技術を十分に発揮する」という意味の慣用句です。「料理の腕を振るう」のように使います。

問11　答え 2　顔色
「顔色をうかがう」の「顔色」の部分が入ります。 意味は「相手の機嫌や様子を気にして、自分の言動を決める」です。

問12　答え 3　父の会社が倒産寸前で、我が家の家計は火の車だ。
「火の車」の正しい使い方は「父の会社が倒産寸前で、我が家の家計は火の車だ。」です。 意味は「家計や経営の状態が非常に苦しいこと」です。

問13　答え 1　説明を聞いても理解できず、首をかしげた。
「首をかしげる」の正しい使い方は「説明を聞いても理解できず、首をかしげた。」です。 意味は「疑問に思ったり、納得がいかなかったりする」です。

問14　答え 4　美術館に通ううちに、祖父はすっかり目が肥えた。
「目が肥える」の正しい使い方は「美術館に通ううちに、祖父はすっかり目が肥えた。」です。 意味は「よいものを多く見て、良し悪しを見分ける力がつく」です。

問15　答え 4　筆
「筆を執（と）る」の「筆」が入ります。意味は「文章を書いたり絵を描いたりし始める」です。

問16　答え 2　性質が全く合わず、仲が悪いことのたとえ
「水と油」は「性質が全く合わず、仲が悪いことのたとえ」という意味です。